



Ishigaki

日本最南端の自然文化都市

9月8日は県民投票の日です



若者からお年寄りまで
みんなで投票しよう

平和と平和をつなぐ結の道～ピールフルフェスタ'96～

若い世代が、平和を考える場として昨年より開催している「ピースフルフェスタ」が8月18日に開催され、「51年目の平和の種の一粒に」をテーマに朗読詩劇「潮の道」を披露しました。

市内三高校と八重山養護学校高等部から参加した40名の出演者は、夏休み期間中に練習に取り組み、平和創造への熱意を舞台に繰り広げました。また、大濱長照市長、平田太一さん、亀井日出克さん、土田喜久雄さんが平和について語り合うピースフルトークやミニライブも行われました。

戦後半世紀が過ぎ、戦争体験の風化が危惧される中で、これからのまちづくりを担う若い世代が主体的に平和を考える機会となりました。

石垣市の情報をインターネットで発信しています
<http://www.inforokyu.or.jp/~nanpu14/>

1996年 9月号
No. 301

(平成8年9月1日発行)

人口と世帯数

総人口 43,231(+39)

男 21,777(+18)

女 21,454(+21)

世帯数 15,416(+21)

(平成8年7月末日現在)

みなんで参加しよう県民投票

9月8日^日

石垣市民の一票

沖縄を拓く一票

県民投票とは

県民投票は、通常の選挙とは異なり、特定の候補者に投票するものではありません。 「日米地位協定の見直し」と「基地の整理縮小」について、県民自らが直接、「賛成」か「反対」かの意思を明らかにする全国初の意義深い投票です。



県民投票への参加を呼びかける大濱市長



日米地位協定の見直しとは

日米地位協定は、米軍に基地を提供する義務、基地の設定、維持など、その活動に関する様々な原則や、軍人・軍属の権利義務などを定めています。たとえば、公務外に米軍人が起こした交通事故などの事件・事故は、見舞金（慰謝料）を支払うかどうか又、その額は、米軍が決定します。米軍に対しては、国内法で規制したり義務を課することはできないため、基地内の環境破壊や航空機騒音等を規制できないなど、地位協定は米軍にとって有利な内容となっている面もあります。

基地の整理縮小とは

国土面積のわずか〇、六％に過ぎない小さな島々に、全国の米軍専用施設の約七十五％が沖縄県内に集中しています。沖縄県外の都道府県の場合、昭和四十七年の基地面積に比べ、現在までにおよそ六十％の基地が返還されていますが、沖縄県においては、復帰後今日までに返還された基地面積は、わずか十五％にすぎません。

この広大で過密な米軍基地から派生する事件・事故は後を絶たず県民の日常生活や振興開発を図る上で大きな制約となっています。

投票の方法

投票は、「日米地位協定を見直すこと」と「基地を整理縮小すること」の2つのことを合わせて問います。

賛成するときは投票用紙の賛成欄に○の記号を、反対するときは投票用紙の反対欄に○の記号を記入します。

県民の生命と財産を脅かす 日米地位協定と 米軍基地

独自の文化を
築いた沖縄

沖縄県は、東西千km、南北四百kmに及ぶ広大な海域に点在する百六十の島々から成り立っています。

最大の島は沖縄本島で、西表島、石垣島、宮古島など四十八の島々に百二十七万人余りの県民が暮らしています。沖縄県はかつて、琉球とよばれ、中国、朝鮮をはじめとした東南アジアの国々との交流を盛んに行い、独自の文化



武装兵が出勤し、強制的に住民を立ち退かせた（昭和30年3月）

を築き平和の中に生きてきました。

未曾有の地上戦

沖縄県が太平洋戦争に巻き込まれたのは一九四四年でした。十日十日の空襲で那覇の街が焼かれ、翌年三月二十六日には慶良間列島に、四月一日には沖縄本島中部の嘉手納・読谷海岸に米軍が上陸、住民を巻き込んだ戦いは「鉄の暴風」と表現されるほど、熾烈なものでした。

その結果、一般住民を含めた二十万人余りの生命、多くの財産、文化財を奪い、緑豊かで平和な島は焦土と化しました。

銃剣とブルドーザー

米軍は、沖縄戦の最中、本土進攻のために、次々と基地を建設しました。そして、終戦後も銃剣とブルドーザーによって強制的に土地を接収して、基地を拡大強化し、平和な島は基地の島へと変貌しました。

戦後、五十年を経た今日、



事前集積艦が停泊する那覇軍港。（昭和50年代）

国土面積のわずか〇、六%にすぎない狭隘な県内に、全国の米軍専用施設面積の約七十五%が集中しています。

これらの基地は、沖縄本島においてはその面積の二十%を占め、とりわけ人口や産業の集積が著しい中部地区に集中し、しかも住民地域と隣接している上、水域や空域にも多くの軍事訓練をするための制限区域が設定されており、県の振興開発に大きな阻害要因となっています。

米軍関係の 事件・事故

さらに、基地から派生する

様々な事件・事故は後を絶つことなく、なかでも米軍人、軍属による刑法犯罪は、復帰後四千七百八十四件（平成七年十二月現在・殺人事件十二件含む）に達しています。

冷戦構造が崩壊し、ようやく沖縄の基地の整理縮小が進むものと期待されたものの、復帰後、今日までに返還された米軍基地は、復帰時に比べてわずかに十五%にしか過ぎません。また、昨年二月に発表された米国防総省の「東アジア戦略計画」等を見ますと、将来にわたって沖縄の米軍基地が機能強化され、固定化されるのではないかと強く危惧されています。

このほど発表された「沖縄における施設及び区域に関する特別行動委員会」の中間報告では、普天間飛行場の全面返還が決定したことなど、本県の米軍基地の整理縮小に一定の前進が見られました。しかし、ほとんどの施設の返還については、県内の既存の施設、区域への移転を前提としているため、関係自治体や住民から批判の声がでるなど、厳しい状況にあります。

広島「原爆の日」平和記念式 平和大使三名が参加

広島に原爆が投下されて五十一年目を迎えた八月六日、広島市内の平和記念公園で「原爆死没者慰霊式並びに平和記念式」が開かれました。約五万人の参列者は、原爆による犠牲者を追悼し、核兵器のない世界を実現するため、決意を新たにしました。



広島へ平和大使として派遣された慶田盛さん、安里さん・内藤さん（左から）

惨禍が生んだ広島の子と死の経験をも、すべての人びとの心に感動を呼び起こすまで昇華し、この平和文化を永遠の人類共有財産に加えなければならぬ」と訴えました。

石垣市では、次の世代の平和を創造する子どもたちが平和の尊さを考える機会を設けるため、市内の各小・中・高校の児童・生徒を対象に「平和宣言文」を公募し、最優秀表彰された内藤南海子さん（吉原小学校五年）、慶田盛あやさん（石垣第二中学校三年）、安里美幸さん（八重山高校三年）の三名を、「広島平和記念式典」に派遣しました。

広島への派遣を前に市内各学校の児童・生徒から託された「折り鶴」も平和記念公園内に捧げられ、爽り多い新たな平和を創造する大きな一歩となりました。

安里美幸さんは、「広島で五十一年前に起こったことがどれだけの人を殺し悲しませたかということをも身をもって感じました」と感想を述べました。

インターネット ホームページ 内容を充実

石垣市では、世界最大のコンピュータネットワークであるインターネットを利用して情報を発信するため、去った一月三十一日に、県内の市町村にさきがけてホームページを開設しました。

シンボルマークと標語を公募 C-1でまちづくりの活性化を

市民の皆さんは市役所にどんなイメージを持っていますか。市役所は本来、「市民の役に立つ所」すなわち、「サービスを受ける所」というプラスのイメージになるはずですが、しかし、現実には「お役所」といわれるように、堅苦しいというマイナスのイメージが付きまといまいます。市役所はあくまでも市民のサービス機関であり、総合サービス産業こそが市役所が本来持っている特質であります。

二十一世紀を間近に控え、いまわが国は経済大国から生活大国へと大きく変わりつつ

「おりとーり石垣島へ」と題して設置されたホームページには、八重山圏域の各種情報のほか、五月十二日に行われたトライアスロン大会の記録や出場選手の写真などが紹介されています。

ホームページは、八月二十七日から、これまでの内容に加えて観光情報や特産品、建設中のサッカー場などを掲載し、内容の充実を図りました。

あります。人々の関心が、物質的な面よりも、充実した生活、心の豊かさへと移ろうとしている中で、地域の歴史や文化を踏まえた個性のあるまちづくりへの要求が高まっています。

このような、新しい時代に対応して市役所のアイデンティティー（統一性、同一性）を確立し、積極的にイメージアップを図っていくことは、行政にとって極めて大切なことであります。その手段としてC-1（コーポレートアイデンティティ）を導入し、従来のお役所仕事を見直し、

インターネットは参加者同士が国境を超えて情報交換できるため、百五十ヶ国以上の人々と手軽に電子メールを交換したり、自分が作った情報を世界中に発信できます。この巨大なネットワークの活用方法によって、これからの社会や経済の仕組みを変えていくことになるといわれています。

職員の意識改革、組織の体質改善を図るとともに、よりよい市民サービス、親切で思いやりのある市政を展開してまいります。

来年は、沖縄が本土復帰して二十五年、石垣市制施行五十周年の歴史的な節目を迎えます。これを契機として、石垣市の過去の歴史を振り返り、二十一世紀に向けて新しい石垣市をイメージし、内外に広くアピールしていくことを目的に「シンボルマーク」と「標語」を十月三十一日まで「募集要領は八月号に掲載」の間、公募しています。

〈問い合わせ〉

石垣市総務部企画室

電話 2-11243

石垣市では、去る五月十二日に「'96トライアスロンワールドカップ石垣島大会&石垣島ファミリートライアスロン大会」を開催し、多くの市民の感動を呼びました。石垣市をトライアスロンアイランドとして定着させ、小中学生がトライアスロンの楽しさを体験するため、八月十一日に「第1回わんぱくトライアスロンinいしがき」が開催されました。

夏休み中の小学校一年生から中学三年生までの出場選手一〇九人が、学年に合わせた距離に挑戦しました。チビッコトライアスリートたちが一生懸命ゴールを目指した姿を写真で紹介します。

目指せ ワールドカップ

わんぱく
トライアスロン
inいしがき



夢はワールドカップ出場（中学生参加者のみなさん）



ゴールでこっぴり



スイムからバイクへ（トランジションエリア内）



声援の中、バイクで走る選手たち



ボランティアも活躍



小波本君はゴールで感激の涙



ゴールは遠い？

石垣市農業委員会委員選挙

投票日 九月二十二日(日) 午前七時～午後四時

有権者のみなさん、農業委員は農業者の代表として、公正な立場で農地法に基づく許可や・農地のあっせん・農地に関する紛争の防止・和解の仲介・標準小作料の設定などのほか、農地の貸し借りに関する推進活動を行います。

今回の選挙より条例改正によって第一投票区七人、第二投票区十人、合計十七人となりました。

投票日には、もれなく投票しましょう。

とうばらーま大会

九月二十五日に開催

九月二十五日(水)に新栄公園においてとうばらーま大会が開催されます。

出演者は、市内をはじめ沖

縄本島や他府県から厳正な予備審査を通過した、二十五人が、独特の歌声を披露します。

また、作詞の部で入賞した方々の作品も披露されます。八重山を代表する叙情歌謡「とうばらーま大会」は、終戦後の昭和二十二年に第一回大会が開かれ、一時中断があったものの、今日まで受け継がれています。

来る九月二十五日(旧暦八月十三日)は多くの市民の皆様のご来場をお願いします。

大地震発生 その前に 身を守る備えと行動

9月1日は防災の日

8月30日～9月5日は防災週間

平穏な日常生活を突然襲う大地震。その発生を事前に予測することは困難です。

しかし、地震が起きたときに一人ひとりが適切な行動をとることで、被害を最小限に食い止めることはできるはずです。いざというときに落ち着いて行動するためには、日頃から震災に対する心構えと備えを万全にしておかなければなりません。

家族で防災会議を開こう

大地震の際、あわてず行動できるように、ふだんから次の

ことを話し合っておきましょう。

- ① 家の中でどんな所が安全か
- ② 非常持ち出し袋に何を入れどこに置くか
- ③ 避難するとき、だれが何を持ち出すか
- ④ 火元をだれがチェックするか
- ⑤ 消化器、救急医薬品、非常食などをだれが点検しておくか
- ⑥ 避難路や最終的な避難場所、連絡方法をどうするか

このような事項について家族の役割分担を含めて考えておきます。

避難路や避難場所は地域ごとに指定されているので、確認をかねて一度は歩いてみましょう。また、昼の場合と夜の場合、職場や学校など、家族がばらばらになっているときのことを考えて、確実に連絡し合える方法を決めておきましょう。自分の血液型や避難場所、親戚・知人の連絡先などを書いた「避難カード」を家族全員で携帯するのもよいでしょう。

阪神・淡路大震災での 住民防災活動

バケツリレーで共同消化
《神戸市長田区の場合》

地域の自治会長たちの呼びかけで、住民がバケツや洗面器を使ってリレー方式で貯水槽から水を運び、消化に当たりました。最終的には二百人を越す住民が作業に参加。また燃え上がって倒壊しかかる家屋を火元側に押し倒すなどで延焼を食い止め、被害の拡大を防止しました。

地域を知る消防団の活躍

《北淡町の場合》

地域住民の暮らしや家族構成に精通する消防団は、倒壊家屋のどこに何人の住民が生き埋めになっているかをすばやく察知し、短時間で集中的な救助活動を行いました。

その結果、家々の下敷きとなっていた約三百人全員を救助。また、消火栓が使用不能のなか、竹ぼうきなどを使ってボヤを消し止め、同時に、各戸のプロパンガスボンベの元栓を閉めて回りました。

建設業退職金共済制度をご存じですか

この制度は、国が昭和39年10月に建設業の労働福祉対策の一環として創設し、実施運営は、「特殊法人建設業・清酒製造業・林業退職金共済組合」が当たっております。

この制度の特長は、建設業界で働いている間、事業所が変わっても、事業所に雇用されていた期間を通算して退職金を支払う制度です。

現在、全国で14万5千人の建設業者と、2百2万1千人の労働者がこの制度に加入し、退職金の積立てが行われ、すでに79万人の労働者が退職金を受け取り、その額は2,864億円を越えております。

尚、この制度に加入している事業所に対しては労働者住宅等の福祉施設を設置するための融資制度があります。

【問い合わせ】

〒901-21 浦添市牧港5-6-8

沖縄県建設会館 2 E ☎(098)876-5214

ふるさと山村フォトコンテスト写真募集

山村における生活、イベント、美しい山村の景観など幅広い分野を対象とした「ふるさと山村フォトコンテスト」を募集しています。

生活感・季節感あふれた山村の姿を伝えるもので、山村の「魅力」と、未来の活力の「いぶき」を感じさせる作品をお寄せください。

締切日：平成8年9月30日（当日消印有効）

送り先：全国山村振興連盟

「第5回 ふるさと山村フォトコンテスト係」

〒102 東京都千代田区平河町2-7-1

塩崎ビル (03) 3261-6791

不動産に関する無料相談会

沖縄県不動産鑑定士協会では、都道府県地価調査に係わる「不動産に関する無料相談会」を開催します。

この相談会は、地価公示制度や地価調査制度についての一層の普及を図るとともに、国土利用計画法、土地基本法について一般の理解を深めることを目的に開催されます。

その他、土地に関する法律問題、土地税制等、不動産全般についての相談にも応じます。

日時：平成8年9月25日（水）

午前10時～午後4時

場所：石垣市役所

石垣リゾートビジネス専門学校の講座

石垣リゾート海洋専門学校では市民を対象に次のような講演会を予定しています。

◆講演活動

講演テーマ「地球環境と八重山」「八重山の自然環境を考える」「八重山の地震を考える」「日本の経済と八重山発展の展望」「八重山の自然と生態系は、いま」等

◆市民講座・講習

《一般講座》中国語会話・英会話・観光英会話・ワープロ講習

《公民館活動》自然観察会、自然体験学習会への協力

《ボランティア養成》ワールドカップIN石垣での英会話講座

【問い合わせ】

石垣リゾート海洋専門学校 ☎3-7353

労働安全衛生法に基づく 各種免許試験案内

九州安全衛生技術センターでは、平成8年7月から平成9年3月までの間に下記の学科試験を実施します。免許試験日時等詳しいことは当センターへ問い合わせ下さい。

《学科試験》

- ①特級ボイラー技師 ②一級ボイラー技師
- ③二級ボイラー技師 ④特別ボイラー溶接士 ⑤普通ボイラー溶接士 ⑥ボイラー整備士 ⑦クレーン運転士
- ⑧移動式クレーン運転士 ⑨デリック運転士 ⑩揚貨装置運転士 ⑪発破技師 ⑫ガス溶接作業主任者 ⑬林業架線作業 ⑭第一種・第二種衛生管理者 ⑮高圧室内作業主任者 ⑯エックス線作業主任者 ⑰ガンマ線透過写真撮影作業主任者 ⑱潜水士

《問い合わせ》

(財)安全衛生技術試験協会

九州安全衛生技術センター

〒839福岡県久留米市東合川5丁目9番3号

(0942)43-3381

《受験申請書等頒布先》

(社)沖縄県労働基準協会

〒900 那覇市港町2-5-1 (098)868-2826

沖縄県トラック研修会館

(社)日本ボイラ協会沖縄支部

〒901-21 浦添市牧港5-6-8

沖縄県建設会館 4 F (098)878-2441

(社)日本クレーン協会沖縄県支部

〒901-21 浦添市牧港5-6-8

沖縄県建設会館 4 F (098)878-2441

社宅・保養所・マイホーム建設を 低利で融資

雇用促進事業団沖縄雇用促進センターでは、「雇用促進融資制度」及び「財形持家転貸融資制度」の利用を呼びかけています。

この制度は、従業員用の社宅や保養所などの建設、設備備品の購入や土地の取得などに対し、必要な資金を長期低利で融資する制度です。

【問い合わせ先】

雇用促進事業団 沖縄雇用促進センター

☎(098)862-3212

NHK学園の通信講座で 自己を高める学習を

NHK学園では「俳句・短歌・書道・文学・写真・絵画・語学」等、資格の取れる講座など趣味と教養の81講座200コースを開講しています。

受講者の申込みは随時受け付けていますので、この機会に自己を高める講座にチャレンジしてみたいかどうか。

【問い合わせ】

〒186 東京都国立市富士見台

NHK学園 8 E O-係

☎(0425)-72-3151

石垣←→福岡直行便の 実現をめざして 大濱市長が国へ要請



石垣市は、離島県の離島という地理的ハンディのため沖縄本島や他府県への交通手段は航空機に大きく依存しています。また、豊かな自然と南国の文化を求めて訪れる観光客は毎年増加しており、観光関連産業は、地域経済の重要な産業として発展しつつあり、石垣市と国内の主要都市を結ぶ交通網として、航空路線の重要性が年々増大しています。

石垣市と東京を結ぶ直行便は、平成五年七月に、大阪とを結ぶ直行便は平成六年九月に実現しました。八重山市町会（会長・石垣市長大濱長照）では、運輸省、沖縄開発庁、沖縄県に対して「石垣―福岡間航空路線の開設について」の要請を行いました。今後の国民の余暇活動の多様化に対応し、我が国の東南アジアに開かれた南の国際交流の拠点づくりのため、「石垣―福岡間航空路線」の開設は市民の願いでもあります。

なお、昨年九月には蘇澳鎮（台湾宜蘭県）との姉妹都市締結のため、初の国際チャーター便が石垣空港と台北中正国際空港（台湾）間を就航しました。また、八重山青年会議所が主催して国際チャーター便の就航（石垣空港―台北中正国際空港）を九月二十日に予定しており、本市の国際化に向け石垣空港の重要性が高まっており、新石垣空港の早期整備が望まれています。

事業所・企業統計 調査にご協力を

十月一日現在で、全国一斉に事業所・企業統計調査が実施されます。

この調査は、統計法に基づいて行われる調査で、全国すべての事業所を対象とした国の最も基本的な統計調査の一つです。

調査の結果は、国や地方公共団体などにおける各種行政施策の立案や民間における事業計画等の策定の基礎資料として、多方面に利用されます。

9月下旬から調査員が各事業所を訪問して調査票の記入をお願いしますので、調査にご協力ください。尚、集められた調査票は、統計上の目的以外に使用することは固く禁じられ、各事業所のプライバシーは、法律によって保護されます。

【問い合わせ】

石垣市総務部企画室
広報統計係

☎2-1243

計量器（はかり）定期検査のお知らせ

商店や学校などで取引や証明に使用する計量器（はかり）をお持ちの方は、手数料を持参の上、次の日程で検査を受けて下さい。

《検査対象となるはかり》

- ①商店、露店、行商等で商品の売買に使用するはかり
- ②病院や薬局などで使用している調剤用のはかり
- ③病院、薬局、保健所、各種学校、幼稚園、認可保育所等で使用している身体検査用のはかり
- ④運送業者等が貨物の運賃の算出等に使用するはかり
- ⑤農業、漁業等の製品の販売、出荷のために使用するはかり
- ⑥工場、事業所等の製品の販売、出荷のために使用するはかり
- ⑦公共機関等への報告、または公共機関が行う計量で、統計の公表等を目的として使用するはかり。

【問い合わせ】

石垣市経済部商工課 ☎2-1533

《指定場所で行う定期検査》

検査地区	検査期日	検査場所
石垣市 公設市場	10月1日（火） 午後1時30分～ 午後3時30分	石垣市 公設市場
石垣市 千春市場	10月2日（水） 午後2時30分～ 午後3時30分	千春市場 事務所
石垣市 登野城 市場	10月3日（木） 午後1時30分～ 午後3時30分	登野城 市場 事務所
平得・ 真栄里	10月4日（金） 午前9時30分～ 午前11時30分	平得 公民館

*平得・真栄里地区は開南・於茂登を除く

*上記以外の地区は、10月号で掲載いたします

【問い合わせ】

石垣市経済部商工課 ☎2-1533